

# ぽっかぽか

志木市立宗岡第四小学校  
道徳だより 6月号  
令和元年6月28日(金)

今月は2年生の道徳の授業を紹介します。新1年生が入学してきて、お兄さんお姉さんとしていいお手本になろうと一生懸命な2年生。道徳の授業でも、それぞれが考えを伝え合うことで、さらに新しい考えが出てきたり、友達の考えにしっかりと耳を傾けて共感したりする場面が増えてきました。そんな2年生が友情・信頼について考えました。

## 2年生の道徳の授業の紹介

教材名：およげない りすさん

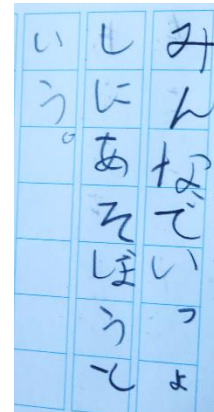
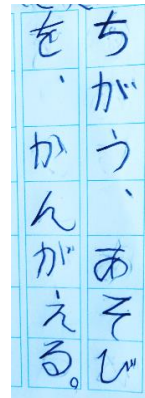
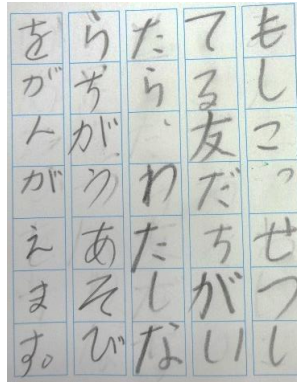
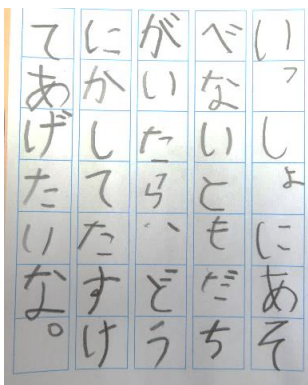
### 教材のあらすじ

池のほとりで、あひるさん・かめさん・白鳥さんが池の中の島で遊ぶ相談をしていました。するとりすさんが来て、「一緒に連れて行って。」と頼みますが、みんなは「泳げないからだめ。」と断り、島に行きます。しかし、遊んでいてもりすさんのことが気になり全く楽しめません。そこであひるさん・かめさん・白鳥さんは話し合い、翌日、かめさんがりすさんを背中に乗せてみんなで島に行きました。

### 授業の流れ

- ①「りすさんは、泳げないからだめ。」と言ったときのあひるさん・かめさん・白鳥さんの気持ちについて話し合いました。
- ②りすさんのことが気になって、島で遊んでいても少しも楽しくなかったあひるさん・かめさん・白鳥さんの気持ちを考えました。
- ③かめさんがりすさんを背中に乗せて池を渡っているときのみんなの気持ちを道徳ノートに記入し、発表しました。
- ④教科書のお話で考えたことをもとに、「クラスの中で一緒に遊べない友達がいたら、どうしたらよいか。」を考えました。

### 児童の道徳ノートから↓



相手の立場を考えて行動ができると、みんなが楽しい気持ちになれますね。

